

令和6年度第2回審議会における委員意見及び事業者回答について

令和6年度第3回 札幌市環境影響評価審議会	資料1
令和6年12月24日	

発寒清掃工場更新事業環境影響評価方法書 審議結果概要(2回目審議:令和6年10月17日開催)

は審議会後の回答

No.	委員名	区分	質問・意見等の概要		事業者回答の概要
1	秋山委員	質問	廃棄物の搬出入について	廃棄物の搬出入の車両について、予測をどのように行うのか。	廃棄物の搬出入については、現工場が稼働しており、今後札幌市内のごみ量が極端に増える想定ではないため、基本的には交通量は現状程度と考えます。しかし、新たに石狩市と当別町のごみを受け入れるため、これをどのように誘導していくかというルートを設定し、現状の交通量に増加分の交通量を加えた騒音、振動、大気質の予測を行う計画で考えております。
2	秋山委員	質問	廃棄物の搬出入について	個別の道路について多く増えるところとそれほど増えないところという仕分けをするのか、それとも、今回は取りあえず一律で計算してみて、正式に決まった後に準備書でもう少し細かいところをやるのか、方法書の段階でどのレベルまで予測されるのか	現時点では、廃棄物の搬出入のルートが決まっていないことから、なるべく清掃工場に近いところで予測地点を選定し、石狩市又は当別町から来る車は必ずここを通るといった最終的に集積する地点を選定しているため、一番大きな影響を受ける地点については考慮しております。 ただ、石狩市に近いところ、当別町に近いところで搬出入ルートが集中する場所がある場合は、準備書段階で追加検討する可能性があることから、基本的には分散していたものが、最後に集積していくようなイメージです。
3	高橋委員	質問・意見	低周波について	低周波音についての7-73ページで、評価方法の選定理由とか評価指標などで低周波音問題対策の手引書を使用していると思います。こちらの手引書における参照値については、「低周波音問題対応の手引書における参照値の取扱いについて」(環境省水・大気環境局 大気生活環境室 平成20年4月17日事務連絡)が発出されており、手引書に使っているような数値等を、環境アセスメントの環境保全目標値に使うのはやめましょうという内容だったと思います。それをあえて、用いているのはどういう考えからか伺いたい。 また、低周波の参照値については、その値を下回ったから問題ないというものではないので、一般の方が見たときに誤解されないようにしていただきたい。	低周波音は、現工場の稼働時と停止時に測定し、まずは類似事例として現工場が周辺環境に与える影響の程度を把握する計画です。 しかし、現状では低周波音について環境基準や規制基準のような客観的に評価する指標がないため、測定項目は「手引書」に記載されている参照値(固定発生源からの低周波が公害苦情の原因であるかを確認するための目安)と比較できる項目を選定しております。 測定結果は参照値と比較しますが、高い低いの評価ではなく、低周波音が現状でどの程度の位置づけであるかを整理したいと考えております。 また、予測評価の環境保全目標として参照値を記載していますが、参照値は評価基準ではありませんので、誤解がないような表現に留意いたします。

発寒清掃工場更新事業環境影響評価方法書 審議結果概要(1回目審議:令和6年8月22日開催)

は審議会後の回答

No.	委員名	区分	質問・意見等の概要		事業者回答の概要
1	坪田会長	質問 意見	温室効果ガスについて	<p>温室効果ガスについて、直接的な二酸化炭素排出量を測定することに加えて、エネルギー使用量をモニタリングする項目があったと思うが、エネルギーの使用量をなるべく低減するような工夫を何かしているのか。</p> <p>これだけ地球温暖化が進んでいる中で、一つ一つのエネルギーの使用量をなるべく低減するということが大事かと思しますので、ぜひその点もご配慮いただければと思います。</p>	<p>清掃工場では、焼却廃熱を利用して蒸気を作り、その蒸気から発電した電力を場内利用や売電しております。今回の更新にあたっては、現在主流である蒸気の高温・高圧化により、発電効率を上げて、さらなる廃棄物エネルギーの有効利用を計画しております。</p>
2	奈良委員	意見	エネルギー使用に関すること	<p>高温の熱が大量に出てくると思うが、最近、どんな建物でも熱を出したものをどうやって発電につなげるのか、有効利用をするのかということがメインのお話になることが多い。その前段階として、出た熱をできるだけ無駄にしないよう、焼却炉の断熱や建物自体の断熱についても考えていただきたい。</p>	<p>施設の断熱を考慮しながら、エネルギー消費の少ない建物を建設したいと考えており、高断熱化及び高効率な建築設備の導入によるZEBについても検討しております。</p>
3	奈良委員	質問	電波障害について	<p>新しい建物が建ってから古い建物を解体するというので、両方が建っている時間が結構長くあると思う。その場合の電波障害について、片一方だけのときと違うと思うが、どのように対策するのか。</p>	<p>電波障害については、現地調査を行い、現況を把握いたします。予測では、新工場のみの場合と、現工場と新工場が存在する場合の両方を評価いたします。</p>
4	奈良委員	質問	廃棄物について	<p>撤去建物について、騒音や振動という解体に係るものも出てくるのではないかと思います。そこをどういうふうに考えているのか。</p>	<p>今回、解体工事につきましては環境影響評価の対象ではないため、解体工事に係る振動、騒音につきましては、工事の規制基準等を準拠する形で工事を進める予定です。</p>
5	秋山委員	質問	大気質、騒音について	<p>大気質の評価のところ、これは騒音にも関係する部分かと思うのですが、稼働後の交通量の変化が現行とどのように変わるかという評価をするときに、恐らく、現行とかなり変わるの、広域で石狩のごみを発寒清掃工場に運ぶという点かと思ます。その点の変化を評価して盛り込んでいくという考え方でよろしいか。</p>	<p>石狩市、当別町からのごみを受け入れるため、当該市町からの搬出入車両の影響を受ける沿道でも大気質、騒音及び振動の予測を行います。現時点では、具体的なルートが決まっていないため、準備書段階で清掃工場への搬入ルートを検討し、予測に反映いたします。</p>